

(社)北海道建築士会創立60周年

第37回 (社)北海道建築士会全道大会(函館・松山大会)

大会テーマ 「Rebirth」

サブテーマ - 過去と未来との出会い -



第37回 社団法人北海道建築士会全道大会実行委員長

社団法人北海道建築士会函館支部 支部長 **山内 一 男**

2011年3月11日東日本大震災の発生。2012年は北海道建築士会創立60周年を迎え、翌2013年一般社団法人として北海道建築士会は新たな出発をします。今回2012年の函館・松山大会は、北海道建築士会の100年に向けての第一歩となる大会です。

自治体の財政や地域経済も潤沢な状況ではないなか、震災による原発事故は日本経済の疲弊状況を一層深いものとなりました。建築士の取り巻く社会環境は一段と厳しさを増しており、北海道建築士会会員が自分達の町や仲間の町に深く係わり、建築士の社会的役割を再生させ、社会で建築士の必要性を復活させることが重要になります。

かつての先輩建築士の方々の戦後の町の復興に全力で汗を流した取組みや、町への熱い気持ちを思い起こすとき、今、私たちがやらなければならないことは、建築士の原点に立ち戻り地域貢献の地道な活動をスタートさせることが大切です。そのことが、私たち建築士にとって社会の信頼を手に入れる一番の近道だと認識しなければなりません。

本大会を北海道建築士会の再生と建築士の復活を目指す、力強いスタートの大会とし、建築士それぞれの「リバース・再生と復活」の思いが熱く語り合える大会にしたいと考えます。

[大会プログラム]

月 日	時 間	開 催 内 容	会 場
8月24日 (金)	13:00~13:30	青年サミット 受付	函館市地域交流 まちづくりセンター
	13:30~17:30	青年サミット テーマ:『Road to Rebirth - 歴史的町並みの今を歩く -』	
	18:30~20:30	懇親会	
8月25日 (土)	10:00~	来賓・大会参加者受付開始	ロワジュールホテル函館 3F ホワイエ
	10:30~12:00	理事会	ロワジュールホテル函館 3F 彩光
	12:00~13:00	昼食	ロワジュールホテル函館 3F 彩光
	13:00~15:00	分科会	ロワジュールホテル函館
		A分科会 (女性委員会)	4F 「葵、藤」
		B分科会 (まちづくり委員会)	3F 「彩雲」
	C分科会 (青年委員会)	3F 「瑠璃、翡翠」	
15:15~16:30	大会式典	ロワジュールホテル函館 3F 彩海	
16:45~18:15	基調講演	函館北洋ビル 8F	
18:30~20:30	懇親会	ロワジュールホテル函館 3F 彩海	

分科会

A分科会 素材～木材～函館・桧山編

女性委員会

函館には特徴ある下見板張りの古い建築物が多く残っています。主に住宅や店舗として建てられ、擬洋風の佇まいは現在も存在感があります。

A分科会は、そのような建物から素材としての「木材」を取り上げ、地場産材の活用状況や、古い建物の保存と修材のための工夫、維持管理の方法などを学び、過去の木材の使用方法与現在の木材の状況をつなげる事により、建物や、まちを再生する道があるかを探りたいと思います。

B分科会 ゆるやかな まち育て

まちづくり委員会

函館市は、本道さきがけとしての歴史、政治、経済、文化、産業や交通の要衝として道内の発展を引率してきた都市です。

また、幕末の開港以来、港の発展とともに歩んできた街であり、開港にともない西洋の文化がいち早く流入し、多数の史跡や名所により情緒あふれる景観と文化を抱えています。

反面、時代の流れとともに産業の中心となってきた海運や造船、北洋漁業やオイルショック後の衰退など、経済を取り巻く環境は厳しいものもありました。

こうした背景の中にありつつも、歴史や景観などの特色を生かした市民のまち育てではお手本となる取り組みの宝庫であります。

この度のB分科会では実際に街を歩き、函館のまち育てを肌で感じながら「ないものねだり」から「あるものさがし」の“ゆるやかな まち育て”について語りたいと考えます。

見て、感じて、学んで語り合しましょう。

* B分科会は、午前中に街歩きをします。

受付 10:00～10:30

街歩き 10:30～12:00

(グループを作り、グループごとに委員会メンバーと函館支部メンバーが同行して、説明を聞きながら街歩きを行います。)

C分科会 観光都市における建築士の役割「Draw the Future ー歴史的町並みの未来を描くー」

青年委員会

北海道有数の歴史的町並みのある観光都市、函館。

函館には歴史的建物の積極的な活用が現在進行形で進められており、それは古き良きものを残していきたいという強いニーズがあるからです。全道各地でも歴史的建物の積極的な活用は進められていますが、その地域に根ざした建築士たちは、歴史的建物の活用方法に試行錯誤されているのではないのでしょうか。

本分科会では、函館で進められている歴史的建物の活用方法を学んだ上で、全道各地から集まる建築士たちのスキル・視点により、歴史的建物のリノベーション提案を行い、歴史的町並みの未来を思い描くとともに、地域における建築士としての役割（地域貢献）を考えていきます。

基調講演



講師：外交ジャーナリスト・作家 手嶋 龍一

外交ジャーナリスト・作家。元NHKワシントン支局長。
2005年NHKから独立。

9・11同時多発テロ事件に際しては11日間にわたる24時間連続放送を担い、その冷静で確かな分析は視聴者の圧倒的な支持を得ている。

著書には、2001年同時多発テロ事件から2011年福島第一原発事故までの十年間を検証し、日米両国のリーダーシップの有りようを描いた『ブラック・スワン降臨～9.11-3.11インテリジェンス十年戦争～』等多数。

1994年、ハーバード大学の国際問題研究所にフェローとして招聘された。黒衣の国際政治学者と呼ばれたカトリック神父、ブライアン・ヘア教授をはじめ、『文明論の概略』の著者スタンレー・ホフマン教授らの指導を受ける。

現在は、慶応義塾大学大学院教授としてインテリジェンス論を担当し、外交・安全保障を中心に後進の指導にも積極的に取り組んでいる。

青年サミット 「Road to Rebirth - 歴史的町並みの今を歩く -」

主旨：

異国情緒あふれる街、函館。

かつてその中心として栄えた西部地区は、歴史的建造物が数多く建ち並び、北海道の玄関口として栄えた当時の面影を色濃く残しています。それらの建造物の多くは修繕や改築を繰り返しながら現存しつつ、観光場所として、また地域住民の憩いの場として今なお愛され親しまれています。

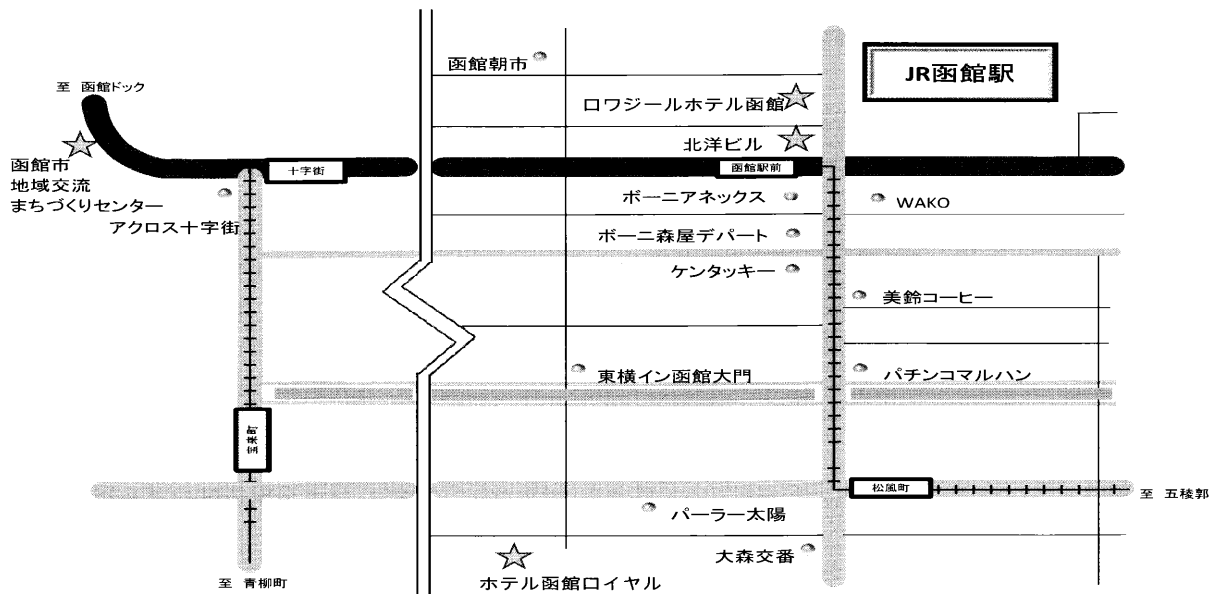
Road to Rebirth - 歴史的町並みの今を歩く -

その西部地区を自らの足で散策し、今なお現存する建物を見て、それらに関わる人たちの声を聞き、その歴史の重みを感じていただき、その経験を、過去から未来へ脈々とつながる道の「今」という地点に立つ我々青年建築士が、未来にどのように生かすことができるのかを皆で語り合う、そのような青年サミットにしたいと思います。

プログラム

- 13:00～13:30 受付
- 13:30～13:50 挨拶
- 13:50～14:30 函館の今を紹介
- 14:30～14:45 まち歩き 内容説明
- 14:45～16:55 まち歩き
- 16:55～17:30 感想・総評
- 17:30～18:30 会場移動・チェックイン
- 18:30～20:30 懇親会

第37回全道大会会場ご案内



ロワジールホテル函館

〒040-0063
北海道函館市若松町14番10号
TEL 0138-22-0111

函館市地域交流まちづくりセンター

〒040-0053
北海道函館市末広町4番19号
TEL 0138-22-9700

ホテル函館口イタル

〒040-0034
北海道函館市大森町16番9号
TEL 0138-26-8181